

第2章

合併に至る経緯及び協議の経過

1 合併協議会設置までの経緯

(1) 合併に向けた国・県の動き

～平成18年3月28日 栃木県市町村合併推進構想に真岡市、二宮町の枠組みが盛り込まれる～
地方分権の推進、少子高齢社会の進展、生活圏の広域化といった社会情勢の中、行政運営の効率化を向上させると同時に多様化する住民ニーズに適切に対応していくために、国は積極的な市町村合併を促進するため、平成7年に「市町村の合併の特例に関する法律」の一部改正を行った。またその後、平成11年にも改正を行い一層の促進を図った。

さらに平成17年4月には「市町村の合併の特例等に関する法律」(以下「合併新法」)が施行された。

県においても、国の法律のもと市町村の自主的・主体的な合併を推進してきたが、「合併新法」の施行により、自主的な市町村の合併をさらに推進した。

平成18年3月に、県は、市町村が基礎自治体としての機能をさらに発揮することができるよう、自主的な市町村の合併を推進していくため、「栃木県市町村合併構想」を策定した。この構想の中に、真岡市と二宮町の組み合わせが盛り込まれた。

(2) 合併にいたる経緯の概要

真岡市、二宮町においては平成14年から芳賀郡1市5町で「芳賀郡市行政事務研究会市町村合併研究会」を設置し、住民アンケートなどを実施し、検討を行ってきた。

平成16年1月1日、真岡市、二宮町、市貝町、益子町、茂木町で法定協議会を設置、協議を進めたが、同年8月、解散となり、合併には至らなかった。

同年10月、二宮町から真岡市に対し、合併の申し入れがなされたが、同年11月、申し入れが取り下げられた。

その後、平成19年に二宮町が真岡市への編入合併することの可否を問う住民アンケートを行い、その結果を踏まえ、平成19年3月に、二宮町から編入による合併の申し入れがあり、これを受け真岡市は、同年6月、二宮町に対し合併協議を進めていく旨の回答を行った。

平成19年 2月 1日 ～ 2月15日	二宮町で合併に関する町民アンケートを実施 対象者 18歳以上 13,907名 回収数 11,773通(回収率84.7%)
平成19年 3月 7日	二宮町から真岡市に対し編入合併の申し入れ
平成19年 3月19日 ～ 3月23日	二宮町で合併に関する住民説明会を開催 町内旧3地区ごとに開催 参加者数 延 160人
平成19年 6月14日	真岡市から二宮町へ合併協議を進めていく旨の回答